

# 平成30年度の管理運営状況（若洲ヨット訓練所施設）

指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点（具体的に）、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設設備の保守点検	<p>利用者の安全・安心を確保するため、施設等の日常巡回点検を着実に実施し、不具合個所の早期発見・修繕を徹底するなど迅速な対応を行った。（不具合対応件数90件の内、80件直営作業で実施）</p> <p>施設補修は、お客様に安心かつ清潔な環境を提供するため、各トイレの補修（便器やフラッシュバルブの交換等）を行った。また、ヨット・レスキュー艇昇降用スロープの清掃作業（写真①）等を適切に実施し安全を確保するとともに、施設の景観維持のため、枯枝撤去や整枝剪定、実生木の伐採等の樹木管理を適宜実施した。（写真②）</p> <p>設備の老朽化が進む中、緊急補修やより多くの不具合に対応できるよう、予算の効率的な執行を図るとともに、日々のヨットの小規模な修理やメンテナンス（写真③）、樹木管理、スロープ清掃は、スタッフ直営による作業を実施し、施設の適切な管理に努めた。</p>
	安全性の確保	安全性の確保	<p>本年度も様々な安全対策を継続的に実施し、1年間を通じて無事故を実現した。</p> <p>ヨット教室の安全・安心確保にむけた取り組み</p> <p>①経験豊富なインストラクターの配置 （日本セーリング連盟認定のバジジテスト中級以上の者）</p> <p>②教室開催前のインストラクター全員でのミーティングによる情報共有の徹底（写真④） （当日の参加者の技量に合わせたスケジュールや当日の気象及び海象情報等の確認等）</p> <p>③教室開催中の無線による状況確認及び情報交換</p> <p>④リアルタイムでの気象・海象をチェックし、適宜情報を提供</p> <p>⑤監視カメラによるヨットの動向及び周辺海域の監視（写真⑤）</p> <p>⑥受講者数に応じたレスキューボートの配置</p> <p>⑦教室で使用する艇の事前・事後点検の徹底</p>
		防災への配慮・緊急時対策	<p>地震等の大規模災害への適切な対応にむけて、現場独自の防災訓練の他、東京都の一時滞在施設開設の訓練や本社と連携した情報伝達訓練など、積極的な防災訓練の実施を通じて災害時における危機管理能力の向上を図った。</p> <p>H31年2月26日 ①若洲地区【ゴルフ・キャンプ・若洲協議会】の総合防災訓練（写真⑥） （避難誘導訓練やAEDの使用方法等実践的な訓練の実施）</p> <p>②一時滞在施設としての受入訓練（写真⑦） （帰宅困難者の対応訓練やMCA無線、緊急電話等の使用訓練）</p> <p>H31年2月28日 ③安否確認システムを活用した本社との大規模地震初動対応訓練の実施</p>
事業効果	スポーツ振興事業の実施状況	スポーツ振興事業の実施状況	<p>事業計画に基づき、セーリング普及にむけた若洲ヨット祭りや障がい者体験乗船会、ジュニア育成にむけたマンズリーレガッタ等の事業を実施した。特に障がい者体験乗船会については、日本セーリング連盟・日本障害者セーリング協会・日本視覚障害者セーリング協会の3団体と連携・強化を図り、開催回数を昨年度の1回から2回に増やし、より多くの参加者を受け入れた。（写真⑧⑨）</p> <p>今後は、将来的な障がい者教室開催も視野に入れて、障がい者体験乗船会の開催回数増を検討する。</p> <p>【障がい者体験乗船会 参加者数】 H29年度・・・9月開催 48名（参加者 12名 スタッフ36名） H30年度・・・6月・9月開催 71名（参加者 22名 スタッフ49名）</p>
		利用者の満足度	<p>利用者向けアンケートでの結果では、施設の総合満足度（91%）、受付窓口の対応（91%）、ヨット教室の内容（94%）、インストラクターの対応（96%）等の主要な項目で、「大変よい」若しくは「よい」とお答えいただくなど今年度も昨年に引き続き教室運営についての高い評価をいただいた。</p> <p>また、施設全体で更なる満足度向上に向けて「ウェルカムガーデンの設置」（写真⑩）「冬場のコーヒー無料サービス」「夏場の熱中症対策としての麦茶・塩飴の無料配布」「アンケート結果の公表」（写真⑪）等を行い、お客様が快適に過ごせる環境作りを行った。</p>
	事業の取組	<p>事業計画に基づき、「ヨット体験乗船会」（写真⑫）、「Tokyo Junior Youth」、「高等学校ヨット部活動支援事業」等の普及啓発及び育成事業を行った。運営にあたっては、経験豊富なスタッフにより、年間を通じて育成指導を行い、本年度もこの育成事業から、多くの生徒が選手権等へ出場した。</p> <p>【入賞実績】</p> <p>① 関東水域OP級ヨットレース 42名参加（2位及び上位入賞4名 計5名） （4月/若洲海浜公園ヨット訓練所）</p> <p>② 稲毛ウィークヨット選手権大会 12名参加 （5月/千葉県）</p> <p>③ 福井国体 420・レーザー級 30名参加（2位及び入賞5名 計6名） （9月/福井県）</p> <p>また、昨年度から引き続き不登校児童セーリング支援事業（写真⑬⑭）の実施や大会・イベント誘致を積極的に行い、施設の有効活用を図るとともに、施設の更なるPRとセーリングの普及を推進した。</p> <p>【不登校児童セーリング支援事業】 H29年度・・・7・9月（2回）開催 39名（参加生徒25名 スタッフ14名） H30年度・・・7・8・9月（3回）開催 75名（参加生徒51名 スタッフ24名）</p> <p>【大会・イベント誘致】 全日本大学生個人戦選手権（写真⑮） 開催月・・・8・9月 参加数・・・全国22大学 2,550名</p>	

【作成上の注意事項】

・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。

・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、オリンピック・パラリンピック準備局のHPに掲載します。